

1. 特に効果的であり改善に資した事例について

B. 円滑な学位授与の促進

①複数教員による多面的な指導体制の整備

《人社系》

●信州大学経済・社会政策科学研究科経済・社会政策科学専攻

「双方向ワークショップ型地域作り社会人教育」の事例

(具体的に何を実施したのか)

院生の研究を個々の指導教員の指導に任せるだけでなく、研究指導を教員が集団で行う科目として「個人課題研究ワークショップ」を立てた。

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

「個人課題研究ワークショップ」は、フィールドワークが自分の研究に不可欠である教員2名が常時担当し、各院生の研究の途中経過発表など重要な節目の回には、専攻運営委員である教員2名も参加した。院生が複数の教員から多面的なアドバイスが受けられ、さらに、教員同士の討論からも学べるような科目とした。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

多様な観点から、自分の研究についての意見および指摘を受けることで、院生は作成する論文の練度を向上させることができ、多くの読者の批判に耐えうる論文を作成する一助となった。